



## 2023年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2023年5月12日

上場会社名 株式会社JMC 上場取引所 東  
 コード番号 5704 URL <https://www.jmc-rp.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長兼CEO (氏名) 渡邊 大知  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼CFO (氏名) 篠崎 史郎 TEL 045-477-5751  
 四半期報告書提出予定日 2023年5月12日 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年12月期第1四半期の業績 (2023年1月1日～2023年3月31日)

#### (1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第1四半期	820	24.7	116	22.6	119	△3.3	66	△19.3
2022年12月期第1四半期	657	22.1	95	-	124	200.1	82	201.6

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第1四半期	12.51	12.03
2022年12月期第1四半期	15.59	14.96

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年12月期第1四半期	4,817	2,523	52.4	474.38
2022年12月期	4,332	2,457	56.7	461.87

(参考) 自己資本 2023年12月期第1四半期 2,523百万円 2022年12月期 2,457百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2023年12月期	-	-	-	-	-
2023年12月期 (予想)	-	0.00	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2023年12月期の業績予想 (2023年1月1日～2023年12月31日)

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,370	14.0	420	19.6	405	6.2	260	5.0	49.01

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

2. 当社は年次での業務管理を行っておりますので、第2四半期 (累計) の業績予想の記載を省略しております。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年12月期 1 Q	5,320,700株	2022年12月期	5,320,700株
② 期末自己株式数	2023年12月期 1 Q	300株	2022年12月期	300株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年12月期 1 Q	5,320,400株	2022年12月期 1 Q	5,291,100株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理性があると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
第1四半期累計期間 .....	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間(2023年1月1日～2023年3月31日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が縮小し、経済活動が正常化に向かう中、緩やかに回復傾向が見られました。その一方で長期化するロシアとウクライナの戦争状態による原油・原材料価格の高止まりや、世界的な金融引き締め政策などによる懸念材料が見込まれ、依然として予断を許さない状況であります。

当社を取り巻く試作・開発市場は、前事業年度から続く、世界的なカーボンニュートラル(温室効果ガス排出実質ゼロ)目標達成に向けた自動車メーカー各社のEV(電気自動車)開発の本格化による、複雑形状かつ大型サイズの試作や、FA(ファクトリーオートメーション(注1))協働ロボット量産用鋳造部品を中心に、堅調な受注状況が継続しました。

このような環境の中、当社は伊豆木産業用地(長野県飯田市)に量産用鋳造部品、大型鋳造部品の生産を担う国内最大規模の砂型鋳造による量産工場棟「第8期棟」を建設しており、当事業年度下期の稼働開始に向けて準備を進めております。

また、3Dプリンター事業では、品質国際規格「IATF 16949」(注2)に準拠した生産・品質保証体制の整備を進め、自動車内装樹脂部品の量産品製造を開始いたしました。

この結果、当第1四半期累計期間の経営成績は、売上高820,132千円(前年同四半期比24.7%増)、営業利益116,598千円(前年同四半期比22.6%増)、経常利益119,892千円(前年同四半期比3.3%減)、四半期純利益66,553千円(前年同四半期比19.3%減)となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

なお、当第1四半期会計期間より、従来「3Dプリンター出力事業」としていた報告セグメントの名称を「3Dプリンター事業」に変更しております。この変更はセグメント名称の変更であり、セグメント情報に与える影響はありません。

#### ① 3Dプリンター事業

3Dプリンター事業におきましては、前事業年度で製作した大口案件の納品に加え、試作業界の景況感の回復、展示会・催事の再開が進みました。このため「短納期」・「高品質」を要求する案件を中心に回復基調が続き、受注拡大をより一層推進すべく社内体制を整備いたしました。

また、心臓カテーテルシミュレーター「HEARTROID(ハートロイド)」は国際会議・展示会への出席・出展による販売促進活動を強化し案件獲得が進みましたが、当第1四半期累計期間での売上は前年並みとなりました。

この結果、3Dプリンター事業の売上高は162,522千円(前年同四半期比13.7%増)、セグメント利益は33,578千円(前年同四半期比4.2%増)となりました。

#### ② 鋳造事業

鋳造事業におきましては、EV関連部品の試作・開発案件とFA協働ロボット量産用鋳造部品の順調な受注状況が継続し、また、生産面ではミーリングセンター(静岡県浜松市浜北区)において高難易度の試作案件の立上げに注力したことで、全社業績を牽引しました。

また、レストア(旧型車両等の老朽化した部品を供給する)分野では、日本最大級の旧型車両展示会「ノスタルジック2デイズ」(主催:株式会社芸文社)に出展し、ブランドサイト「JMC BASE」(注3)とともにレストアブランドの周知拡大を進めるとともに、「日産L28形エンジンシリンダーヘッド」の追加受注を獲得しました。

この結果、鋳造事業の売上高は522,042千円(前年同四半期比33.5%増)、セグメント利益は103,240千円(前年同四半期比50.6%増)となりました。

## ③CT事業

CT事業におきましては、前事業年度から続くNHK（Eテレ）放映番組「ギョギョッとサカナ★スター」への出演を契機に、山梨県から、環境省が野生絶滅種に指定する「クニマス」の体内構造調査を受注し、これに伴う3Dプリンターによるクニマス模型の寄贈プロジェクトに関与するなど、産業用CTの認知拡大をより一層進めました。また、特定顧客の撮像需要に加え、製品の不具合箇所を特定する「非破壊検査・選別サービス」など、大口かつ短納期案件を積極的に獲得したことで、セグメント利益は前年並みの水準となりました。

この結果、CT事業の売上高は135,567千円（前年同四半期比10.0%減）、セグメント利益は97,761千円（前年同四半期比3.2%減）となりました。

## (注1) ファクトリーオートメーション

工場における生産工程の自動化を図るシステムのことで、当社では需要増加が著しい協働ロボット分野で使用される筐体の金属部品に、軽量かつ高強度のマグネシウム鋳造品やアルミニウム鋳造品を提案しております。

## (注2) IATF 16949

自動車産業に特化した品質マネジメントシステムに関する国際規格で、世界の多くの自動車メーカーが、自動車部品のグローバルな調達基準として採用しています。当社3Dプリンター事業は、当規格に準拠した生産、品質保証体制を整備しております。

## (注3) ブランドサイト「JMC BASE」

当社の高い鋳造技術や産業用CTでの検査技術を活かして、メーカーで生産終了となった商品を製造販売することで多くの方に大切な自動車や自動二輪車を長く楽しんでいただくための当社のレストア分野専用のWEBサイトです。（<https://jmcbase.com>）

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第1四半期会計期間末における流動資産は1,393,421千円となり、前事業年度末に比べ5,692千円増加いたしました。これは主に受取手形及び売掛金が267,420千円減少したものの、現金及び預金が265,691千円、商品及び製品が9,526千円増加したことによるものであります。

固定資産は3,423,681千円となり、前事業年度末に比べ479,396千円増加いたしました。これは主にリース資産が23,133千円減少したものの、建設仮勘定が507,111千円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は4,817,102千円となり、前事業年度末に比べ485,089千円増加いたしました。

## (負債)

当第1四半期会計期間末における流動負債は1,069,848千円となり、前事業年度末に比べ30,400千円増加いたしました。これは主に未払法人税等が78,582千円、流動負債のその他に含まれる未払消費税等が52,723千円減少したものの、1年内返済予定の長期借入金が96,166千円、未払金が81,534千円増加したことによるものであります。

固定負債は1,223,380千円となり、前事業年度末に比べ388,134千円増加いたしました。これは主にリース債務が16,381千円減少したものの、長期借入金が404,495千円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は2,293,228千円となり、前事業年度末に比べ418,535千円増加いたしました。

## (純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産合計は2,523,874千円となり、前事業年度末に比べ66,553千円増加いたしました。これは四半期純利益を66,553千円計上したことによるものであります。

## (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期累計期間の業績は、概ね当社の想定どおりに推移いたしました。

通期の業績予想につきましては、2023年2月14日公表の「2022年12月期 決算短信」における2023年12月期の業績予想からの変更はありません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年12月31日)	当第1四半期会計期間 (2023年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	306,561	572,252
受取手形及び売掛金	689,720	422,300
電子記録債権	71,288	58,081
商品及び製品	4,676	14,203
仕掛品	198,228	203,912
原材料及び貯蔵品	79,473	75,728
前払費用	36,764	42,820
その他	1,517	4,439
貸倒引当金	△502	△317
流動資産合計	1,387,728	1,393,421
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,376,261	1,359,431
機械及び装置(純額)	72,078	70,088
土地	320,737	320,737
リース資産(純額)	307,596	284,462
建設仮勘定	579,065	1,086,176
その他(純額)	139,896	141,487
有形固定資産合計	2,795,636	3,262,383
無形固定資産	44,448	37,979
投資その他の資産	104,200	123,318
固定資産合計	2,944,285	3,423,681
資産合計	4,332,013	4,817,102
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	140,753	133,128
短期借入金	100,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	181,345	277,511
リース債務	118,617	109,196
未払金	155,305	236,840
未払法人税等	128,499	49,916
契約負債	75,883	49,573
賞与引当金	51,741	82,105
役員賞与引当金	21,612	21,612
製品保証引当金	238	158
その他	65,451	9,805
流動負債合計	1,039,447	1,069,848
固定負債		
長期借入金	518,972	923,467
リース債務	226,252	209,871
資産除去債務	88,460	88,628
その他	1,559	1,413
固定負債合計	835,245	1,223,380
負債合計	1,874,693	2,293,228

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年12月31日)	当第1四半期会計期間 (2023年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	787,529	787,529
資本剰余金	774,529	774,529
利益剰余金	895,664	962,217
自己株式	△403	△403
株主資本合計	2,457,320	2,523,874
純資産合計	2,457,320	2,523,874
負債純資産合計	4,332,013	4,817,102

(2) 四半期損益計算書  
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)	当第1四半期累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)
売上高	657,678	820,132
売上原価	370,909	482,214
売上総利益	286,769	337,917
販売費及び一般管理費	191,689	221,319
営業利益	95,080	116,598
営業外収益		
受取利息	1	2
補助金収入	5,347	4,097
受取保険金	182	1,235
為替差益	1,288	—
受取補償金	25,340	—
その他	622	1,838
営業外収益合計	32,782	7,174
営業外費用		
支払利息	2,947	2,662
為替差損	—	699
その他	903	517
営業外費用合計	3,850	3,879
経常利益	124,011	119,892
特別損失		
固定資産除却損	1,204	18,160
固定資産売却損	—	1,908
特別損失合計	1,204	20,068
税引前四半期純利益	122,807	99,823
法人税、住民税及び事業税	43,716	44,399
法人税等調整額	△3,390	△11,129
法人税等合計	40,326	33,270
四半期純利益	82,480	66,553



## (3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

## I 前第1四半期累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	3D プリンター 事業	鑄造事業	CT事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	142,878	364,204	150,596	657,678	—	657,678
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	26,772	—	26,772	△26,772	—
計	142,878	390,976	150,596	684,451	△26,772	657,678
セグメント利益	32,212	68,546	100,982	201,741	△106,661	95,080

(注) 1. セグメント利益の調整額△106,661千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第1四半期累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	3D プリンター 事業	鑄造事業	CT事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	162,522	522,042	135,567	820,132	—	820,132
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	162,522	522,042	135,567	820,132	—	820,132
セグメント利益	33,578	103,240	97,761	234,580	△117,982	116,598

(注) 1. セグメント利益の調整額△117,982千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(報告セグメントの名称の変更)

当第1四半期会計期間より、従来「3Dプリンター出力事業」としていたセグメントの名称を「3Dプリンター事業」に変更しております。この変更はセグメント名称の変更であり、セグメント情報に与える影響はありません。

なお、前第1四半期累計期間のセグメント情報についても変更後の名称で記載しております。